

「NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」に係る課題設定のためのRFI募集について

※再提出は受付期間内なら何度でも可能です。同一の法人から同じ研究開発テーマ名の複数の情報提供が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。

また、再提出の場合は、差分ではなく、全書類を再提出してください。

※登録ボタンを押すと応募内容確認画面に移ります。内容を確認後送信ボタンを押すと受付番号が表示されます。受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了してください。

入力・アップロード等の操作の途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。

※通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。

特に期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

※研究開発テーマの補足説明については、NEDO指定様式のパワーポイントにまとめてください。パワーポイントで作成したファイルを応募ページ最下段の「情報提供書（補足情報）」の欄からアップロードしてください。

提出するファイルにパスワードは設定しないでください。

※本情報については、先導研究プログラム（その後のプロジェクトを含む）の実施に向けた検討やNEDO技術戦略の検討等の参考にす以外は一切利用いたしません。

①研究開発テーマ名 (必須)	20字以内で記載してください。 <input type="text"/>
②達成すべき技術課題 (必須)	40字以内で記載してください。 <input type="text"/>
③技術課題に関係する国の戦略 (必須)	情報提供する「技術シーズ」が関係すると思われる国の戦略を、以下より一つ以上選択してください。 他に該当すると思われる戦略がある場合には、「その他」に、該当するものがない場合や不明な場合には、「該当なし・不明」を選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定） <input type="checkbox"/> 2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和2年12月） <input type="checkbox"/> 産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省） <input type="checkbox"/> マテリアル革新力強化戦略（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定） <input type="checkbox"/> バイオ戦略2020（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定） <input type="checkbox"/> 量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議） <input type="checkbox"/> AI戦略2019（令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定） <input type="checkbox"/> 「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定） <input type="checkbox"/> 該当なし・不明 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>

②記入例：「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の解決（解消、向上、拡大/低減、縮小、削減. . .）」や「〇〇における〇〇〇〇〇〇〇〇の創出（創製、合成. . .）」など

③の戦略のURLについては、本資料「参考1」に記載。

*先導研究プログラムでは、エネルギー・環境問題の解決や、新産業の創出を目指していることから、既存の国の戦略・ビジョン等に該当しなくても、この趣旨に該当するものであれば、RFIを提出していただくことは可能です。また、これ以外の国の戦略・ビジョンも記載いただいてもかまいません。

④-1 先導研究の内容（技術的な問題点と解決手段）（必須）

500字以内で記載してください。
問題点を解決するための手段をわかりやすく明記してください。

④-1～3については、今回の情報提供が、ハイリスク・ハイリターンでチャレンジングなものであることを、できるだけ簡潔・具体的に、記載してください。

記載にあたっては、問題を解決するためにどのような革新的な技術を創出するのか（手段）を論理的に、また、提案する解決手段の妥当性も含めて記載してください。

* 妥当性については、技術シーズの根拠となるような実績・基礎研究の成果をもつての提案であることもわかるように、例えば、「この技術シーズは〇〇論文で2020年に発表したものであり、基礎研究を〇年継続してきて基礎データは蓄積されている」のように、具体的に記載してください。）

④-2 研究開発テーマの革新性（必須）

100字以内で記載してください。
従来の発想や方法も簡単に説明し、どのような点が革新的であるか記載してください。

⑤については、情報提供いただく先導研究が成功裏に本格的な研究開発へ発展し、最終的な開発成果が得られた場合に、どのように政策課題の解決に貢献し、社会に還元されるのかを、社会実装のイメージや産業へ及ぼすインパクト等を示して簡潔・具体的に記述してください。

④-3 研究開発テーマの従来技術や競合技術に対する優位性（必須）

100字以内で記載してください。
従来技術や競合技術も簡単に説明し、どのような点で優位性があるか

技術的に達成される仕様（例えば、効率、寿命等）や、可能であれば、その開発技術が最終的に実用化されたときに想定される経済的効果、市場規模、省エネ効果、CO2削減効果等を、競合技術に対する経済的優位性を示しつつ、記載してください。

⑤ 社会実装のイメージ・インパクト（必須）

300字以内で記載してください。
2030年以降の実用化イメージ、産業への波及効果等を具体的に示し

効果の算出にあたっては、入手できる定量的データ等の根拠も合わせ記載してください。

* インパクトの記載にあたっては、例えば「参考2」の考え方もご参照ください。

<p>⑥情報提供する研究開発の現時点におけるTRL（技術成熟度）（必須）</p>	<p>今回提供する研究開発の現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）について、自己評価をしてください。 いずれか一つを選択してください。 ※TRLについては、JAXAの基準をもとに、各種文献を踏まえ作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> TRL1 科学的な基本原理・現象の発見・確認 <input type="checkbox"/> TRL2 原理・現象の定式化、応用可能性の確認、応用的な研究 <input type="checkbox"/> TRL3 技術コンセプトの確認、要素技術の構想（創案・調査・予備実験・設計など） <input type="checkbox"/> TRL4 各開発要素の製作と性能確認、応用的な開発（要素レベル） <input type="checkbox"/> TRL5 全てを統合した実証システム（試作品）の製作（要素レベル） <input type="checkbox"/> TRL6 実証システム（試作品）の導入環境に近い環境での実証（システムレベル） <input type="checkbox"/> TRL7 製品候補の製作と導入環境での実証（システムレベル） <input type="checkbox"/> TRL8 製品の製作と販売（パイロットライン） <input type="checkbox"/> TRL9 商品化、大量生産
<p>⑦関係する研究開発テーマの事後評価報告書の名称</p>	<p>今回提供する研究開発に関係するテーマを他の国立研究開発法人や公設試験研究機関等で実施しており、当該研究が終了し事後評価を受けている場合には、当該テーマ名や事後評価報告書名を記載してください。</p> <input type="text"/>
<p>機関名（法人名）（必須）</p>	<p>個人の方による情報提供の場合は「個人」と記載ください。</p> <input type="text"/>
<p>法人番号（13桁）</p>	<p>半角数字13桁で記載してください。</p> <input type="text"/>
<p>所属部署</p>	<input type="text"/>
<p>役職名</p>	<input type="text"/>
<p>氏名（必須）</p>	<p>姓名の間に全角スペースを入れてください。</p> <input type="text"/>
<p>氏名（ふりがな）（必須）</p>	<p>ひらがなのみ 姓名の間に全角スペースを入れてください。</p> <input type="text"/>
<p>郵便番号（必須）</p>	<p>半角数字7桁（ハイフンなし）</p> <input type="text"/>
<p>住所（必須）</p>	<input type="text"/>
<p>電話番号（必須）</p>	<p>半角数字</p> <input type="text"/>
<p>メールアドレス（必須）</p>	<input type="text"/>
<p>情報提供書（補足情報）（必須）</p>	<p>NEDO指定のパワーポイント形式で作成したファイルをアップロードしてください。 ※パスワードは設定しないでください。</p> <p><input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません</p>

⑥については、今回提供する研究開発の現時点におけるTRL（技術成熟度レベル）について、自己評価をし、上記より選択してください。

※TRL:JAXAの基準をもとに、各種文献を踏まえ作成

参考 1

国の戦略、ビジョンの例

- ・革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryo/haihui048/siryo6-2.pdf>
- ・2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略（令和3年6月18日関係府省）
<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210618005/20210618005-3.pdf>
- ・産業技術ビジョン2020（令和2年5月29日経済産業省）
<https://www.meti.go.jp/press/2020/05/20200529010/20200529010-2.pdf>
- ・マテリアル革新力強化戦略（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/material/honbun_gaiyo.pdf
- ・バイオ戦略2020（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/bio/bio2020_honbun.pdf
- ・量子技術イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
<https://www8.cao.go.jp/cstp/siryo/haihui048/siryo4-2.pdf>
- ・AI戦略2019（令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ai_senryaku/pdf/aistratagy2019.pdf
- ・「安全・安心」の実現に向けた科学技術・イノベーションの方向性（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議）
http://www.kantei.go.jp/jp/singi/anshin_anzen/pdf/anzen_2.pdf

参考 2

社会実装のイメージとインパクトについて

* インパクトを説明するにあたっては、特に、CO₂の排出削減に貢献する技術については、例えば以下のような記載方法も参考にしてください（なお、経済性（CO₂削減費用）については、記載がなくても差し支えありません。可能な範囲で算出して下さい。）。

○実現しようとする製品・サービス名（競合技術をリプレイスする想定）

	20××年（適宜設定してください）	2050年
TRL		
①単年度の普及見通し（単位）		
②単価（円／単位）		
③市場規模（円）（①×②）		
④CO ₂ 排出原単位（キロCO ₂ ／単位）		
⑤CO ₂ 排出量（キロCO ₂ ）（①×④）		

○競合技術（競合技術の名称： ）

	20××年（適宜設定してください）	2050年
TRL		
⑥単価（円／単位）		
⑦CO ₂ 排出原単位（キロCO ₂ ／単位）		
⑧CO ₂ 排出量（キロCO ₂ ）（①×④）		

○CO₂削減効果 ※概算普及開始時点からその時点までの累積普及数×（⑦－④）

- ・20××年時点： キロCO₂
- ・2050年時点： キロCO₂

○経済性（CO₂削減費用）※概算
（②－⑥）／（⑦－④）

- ・20××年時点： 円／キロCO₂
- ・2050年時点： 円／キロCO₂

本シートで算定した内容については、Web入力情報⑤「社会実装のイメージとインパクト」又は「補足情報」として使用してください。

* NEDOでは、「持続可能な社会の実現に向けた技術開発総合指針」において、様々な革新技术における「CO₂削減ポテンシャル」と「CO₂削減コスト」を試算し公表しておりますので、必要に応じてご参照ください。

https://www.nedo.go.jp/library/tsc_future.html